

チャペル週報

あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。
(ルカによる福音書 6:36)



2006 6.12 ~ 6.16 No.9
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 6月12日(月) 神 和田 唱子
経 大西 和明 (総合教育研究室事務長)
-
- 6月13日(火) 院 山内 一郎 (関西学院大学名誉教授)
神 Christian M. Hermansen (宣教師)
文 田 淵 結 (宗教主事)
社 音楽チャペル 聖歌隊
法 ギデオン協会
経 永田 雄次郎 (文学部教授)
商 嶋村 誠 (商学部助教授)
総 柴垣 伸也 (青年海外協力隊員・総合政策学部卒業生)
-
- 6月14日(水) 神 奨学金授与礼拝 石橋 悽貴 (東邦幼稚園理事長)
社 大切なこと 真鍋一史 (社会学部教授)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 舟木 譲 (宗教主事)
商 辻 学 (宗教主事)
理 賛美礼拝 理工学部ハンドベル・KSC聖歌隊合同
総 Yuri Adrian Tijerino (総合政策学部助教授)
-
- 6月15日(木) 神 ゴスペルクワイアPower Of Voiceによる音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宣教師)
法 ギデオン協会
経 徳田 真二 (吉岡記念館事務室課長)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 渡部 律子 (総合政策学部教授)
-
- 6月16日(金) 神 出口 尚弘 (M1)
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 大切なこと 打樋啓史 (宗教主事)
経 } フランス週間を覚えて (経済・商学部合同チャペル)
商 } パイプオルガン・コンサート 太宰まり 於:ランバス記念礼拝堂
理 「年輪」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00~8:20 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月16日(金) 宣教師の働きのために Julia 碧 Thrasher
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

時代のしるし

北 村 泰 彦

「あなたたちは、夕方には『夕焼けだから、晴れた』と言い、朝には『朝焼けで雲が低いから、今日は嵐だ』と言う。このように空模様を見分けることは知っているに、時代のしるしは見ることはできないのか。」（マタイによる福音書16章2,3節）

以上は聖書の一節であるが、自然現象を観察し、そこから普遍的な法則を導き出そうとする自然科学の方法論を的確に捉えている。当時は自然を観察する手段と言え、人間に備えられた五感に頼るしかなかったであろうが、現在では様々な計測機器が利用可能になり、精密に自然現象を観測することができるようになった。そこから得られる法則もより客観的で、より精度の高いものとなっている。発見された法則は科学技術の基礎であり、その恩恵によって、我々は一見、豊かで便利な文明を築き上げることに成功した。しかしその一方で「時代のしるし」に対する関心は、聖書の時代から2000年経た今でも、あいかわらず低いままではないだろうか？「時代のしるし」不在の科学は様々な問題を引き起こす。

その象徴的な出来事の一つが、世間を騒がせている「耐震偽装」ではないだろうか？建物の設計図と計算式から、専門家は正確に耐震強度を求めることができる。これをもとに想定される地震に対して十分な強度を持つ建物を作ることにもできる。これはまさに科学の成果であり、これにより我々は安心して生活することが可能になる。一方で耐震強度の計算は専門家にゆだねられており、非専門家が容易に理解できる領域ではないだろう。このことが専門家の偽装を見逃し、多くの悲劇を生み出してしまった。この事件は技術にたずさわるものの責任の重大さを痛感させるものである。

創世記1章28節にもあるように、神は私たちに世界を管理する責任を与えられた。自然科学はあくまで人々の幸福のために用いられるものであり、人間によって適切に管理されなければならない。キリスト教大学の中で科学技術にたずさわるものとして、単なる技術を教えるだけでなく、「時代のしるし」を見失わない教育を忘れないようにしていきたい。

（理工学部教授）

吉岡記念館 連続写真展

吉岡記念館1階ラウンジで『この時代を生きる』をテーマに4人の写真家の作品展及び講演会を行っています。普段、新聞・テレビが伝えないビルマ、グアテマラ、フィリピン、チベットの人々を困難に置かれた側から生き生きと伝えていきます。皆様に、今、生きている世界を見る目を持っていただきたいと願っています。

6月19日(月)午後～23日(金) 古谷桂信氏 グアテマラ
「湖水とともに生きる グアテマラ サンティアゴ・アティトラン」

講演会：6月20日(火)15:10～16:40

6月26日(月)午後～30日(金) 中井信介氏 フィリピン
「フィリピンの人々」

講演会：6月27日(火)15:10～16:40

7月3日(月)午後～7日(金) 兵頭千夏氏 チベット
「チベット・カイラス巡礼」

講演会：7月4日(火)15:10～16:40

神戸三田キャンパスチャペルオルガニスト募集中

理工学部と総合政策学部の学生チャペル・オルガニストを募集しています。リーフレット、募集要項、応募用紙は神戸三田キャンパス事務室(1号館キャンパス担当)にあります。詳細は、吉岡記念館事務室宗教センターでお尋ねください。(0798-54-6018)

また、募集要項、応募用紙は関西学院宗教センターホームページからダウンロードできます。
http://www.kwansei.ac.jp/christian_center/

ランバスチャペルヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のチャペルヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ足を運んでみてください。

6月12日(月) 関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

6月13日(火) 関西学院バロックアンサンブル

6月15日(木) 関西学院聖歌隊

いずれも12時50分から13時20分までランバス記念礼拝堂にて

聖書の植物(4) ミルトス(ギンバイカ)

ミルトスは、フトモモ科ギンバイカ属の常緑灌木で、日本では普通ギンバイカ(銀梅花)と言います。ミルトスはラテン語の音写で、ヘブライ語ではハダスと言います。エステルは別名をハダサと言いますが(エステル2:7)、これはミルトスの意味です。ミルトスは低木で、成長しても2mくらいですが、条件がよければ10mほどの高さになることもあります。葉は3~5cmくらいの濃い緑色で、夏には白い美しい花が咲きます。花の後には黒みがかかった青色の実があります。これは香りが高く、生のままで、また乾燥させて食用とし、また香水用にも使われます。また、これは鎮痛剤としても使われました。

ユダヤ人は今日でも仮庵祭の時にこの木の枝を用います(ネヘミヤ8:15)。聖書ではこれは、神の寛大さの表象ともされました。ユダヤ人には、アダムが楽園を追われたとき、食物の長として小麦を、果物の長としてなつめやしを、香る花の長としてミルトスを携えることを許されたという伝説があります。ギリシア人は、この木が常緑のゆえに愛と不死の表象とし、ローマ人はこれを月桂樹と合わせて勝利者の冠としました。

訂正のお詫びとお願い

「チャペル週報」No.6のDavid Wider神学部助教授の文章の中で、「イスラム主義」とあったのを「イスラム原理主義」に訂正を致します(5カ所)。